

## 第16回民間資金等活用事業推進委員会（概要）

日 時：平成20年1月23日（木）10：00～11：32

会 場：中央合同庁舎第4号館共用第3特別会議室

出席者：渡委員長、碓井委員、高橋委員、野田委員、前田委員、宮本委員、

事務局：木村副大臣、赤井民間資金等活用事業推進室長、町田参事官、後藤補佐

議事概要：

### （1）委員互選等

委員互選により、渡委員が委員長に選出された。

木村副大臣より御挨拶

渡委員長が、委員長代理として山内委員を指名

渡委員長が、部会に属する委員、専門委員を指名（名簿を配布）

あわせて、部会長として山内委員長代理を指名

### （2）PFIの現況等について

事務局から、資料2に基づき、PFIの現況について説明を行った。

### （3）PFI推進委員会報告 真の意味の官民のパートナーシップ（官民連携）実現に向けて について

事務局から、資料3、4に基づき、前回の第15回PFI推進委員会に取りまとめられた「PFI推進委員会報告 真の意味の官民のパートナーシップ（官民連携）実現に向けて 」の説明を行った。

事務局から、資料5に基づき平成20年1月11日に公表された総務省による「PFI事業に関する政策評価書」についての説明を行った。

### （4）今後の審議の進め方について

渡委員長より、今後の審議の進め方についての説明がなされた。概要は以下のとおり。

・平成19年11月にとりまとめられた「PFI推進委員会報告 - 真の意味の官民のパートナーシップ（官民連携）実現に向けて - 」に沿って、速やかに対応すべき課題について、総務省の政策評価結果も参考にしながら検討措置を行う必要がある。

・本会合後、速やかに委員会の下に部会を設けて、検討を開始し、今後半年程度をめどに部会から本委員会に検討結果を報告いただき、委員会がとりまとめるというスケジュールを考えている。

各委員の主な意見は以下の通り。

・既にこれまでのP F I推進委員会で議論されてきたことではあるが、今、何が求められているかということを確認し、具体的な作業を進めていくのが今期の委員に求められている仕事なのではないかと思う。

・今後P F Iの改善に向けてのさまざまな議論、検討を行うに当たり、まずは視点を大きく広げ、行政全体を改善していくためには何が必要かという点から考え、その中でP F Iとしてどういう改善をすべきか考えていくべき。

・真の意味での官民のパートナーシップとは何か、部会でも議論を尽くしてほしい。ガイドライン等のルールを作る以前に、官と民が対話をして、相手が何を望んでいるのか、どうすればもっと改善するのかということを確認してほしい。

P F Iの失敗事例とされている事業について、P F Iの失敗と事業の失敗を峻別して、P F Iの失敗であるものについては検証作業を通じてP F Iがより効果を生むような指針や考え方を提示し、普及啓発に努めるべき。

・平成19年11月にまとめられたP F I推進委員会報告は、問題点がよく整理されている。地方公共団体等の発注者にとって使いやすい指針を、半年の間で具体的な形でまとめていけたらと思う。

また、官民のパートナーシップ形成のためにファシリテートする仕組みを導入することが必要だろう。

・我が国のP F I事業にはインフラの整備に関するものがほとんどない。インフラは事業規模が大きく、財政支出の大きな削減が期待できる。インフラ分野もP F Iの導入を積極的に考えていく必要があると思う。

・リスクの分析とマネジメントは重要である。何かリスクなのかということを確認し認識することがまず重要と思う。

以上

[問合せ先]

内閣府 民間資金等活用事業推進室

TEL. 03-3581-9680,9681